

はっしあん！ 新青森

青森県立青森西高等学校

Aomori Prefectural Aomori Nishi Senior High School



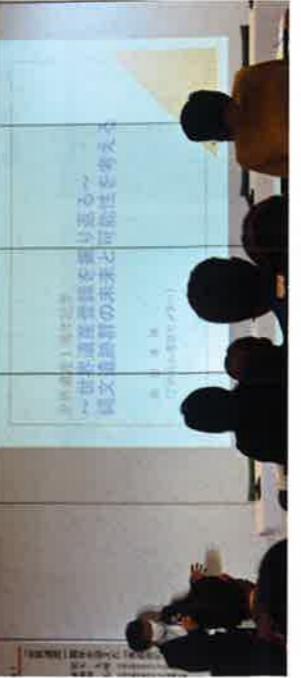
北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録1周年

記念フォーラム 将來像探る

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は2022年7月、世界遺産登録から1周年を迎え、各地で記念の催しが開催されました。青森市の特別史跡・三内丸山遺跡では、「青森フォーラム」が開かれ、岡田康博・三内丸山遺跡センター所長が講演、県内の各遺跡の担当者や関係者が意見交換しました。

三内丸山遺跡(縄文遺跡群の中心的な遺跡で、今年

が本格調査開始から30周年に当たります。岡田所長は調査開始当時、発掘担当者を務め、2005年に青森県が世界遺産登録推進を表明した時から構想に関わってい



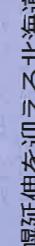
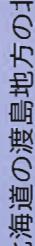
ました。講演で岡田所長は、青森県の遺跡群から4道県の遺跡群へ枠組みを拡大した背景、国内外の出来事にほんとうされてきた経緯、多くの人の支援や助言で一歩一歩、実現に近づいてきた足跡を振り返り、「多くの人が遺跡を訪れるようになり、世界遺産登録の効果を実感している」と強調しました。

ポイントとして「登録されたのが日本の縄文文化ではなく、あくまでも『北海道・北東北の縄文遺跡群』であることを挙げ、一部に誤解が存在すると警鐘を鳴らしました。また、今後は発掘調査に力を入れ、成果を発信していくことが重要だと指摘しました。

意見交換では、世界遺産の構成資産である県内8遺跡をめぐり、市町の担当者や応援活動に携わる民間団体の関係者が、遺跡の活用や地元のPR方法をめぐって熱心に発言していました。

長万部高校生が再訪 新青森駅一帯を視察

北海道長万部高校の生徒4人が7月25日、青森市を訪れ、青森県立青森西高等学校の「青西おもてなし隊」隊員7人とともに、新青森駅と周辺を探訪しました。



長万部町は北海道の渡島地方の北端に位置します。2031年春に札幌延伸を迎える北海道新幹線の駅が新設され、新幹線と在来線の乗換駅となります。

長万部高校生は2021年度、町の事業として新駅のデザインコンセプトの検討作業に携わりました。同年7月には、乗換駅として先輩に当たる新青森駅のほか、三内丸山遺跡などを訪問し、青西おもてなし隊の歓迎を受けました。今年は、新しい長万部駅で観光客や利用者の拠点となる「滞留空間」の検討を進めています。

長万部駅は濱田哲也校長、長万部町の新幹線担当者らと新青森駅に到着し、青西おもてなし隊員の出迎えを受けました。そして、櫛引素夫・青森大学社会学部



金魚ねぶたなど、駅の内部が青森の特色であふれています。長万部駅にも地元の特色を活かした飾り付けができますが、青西おもてなし隊との会話をめぐり「滞留空間を造るに当たって、生徒に居心地の良い空間、例えばポートインスペースや学習スペースがあつてもいい」と語りました。

青森西高校3年の大中悠菜さんは「他校との交流は初めてで緊張しつつも楽しい時間になりました。普段、何気なく使っている新青森駅の魅力など、新しい発見に驚く場面がありました」と話していました。

この後、長万部高校生たちは八戸市の中心市街地でも、滞留空間を持つ施設の様子などを視察しました。



8月の大雨被害お見舞い申し上げます

8月の大雨で青森県の各地とJR奥羽線、津軽線、五能線に大きな被害が出ました。お見舞い申し上げます。

